



東京学芸大学 環境報告書

2023

ENVIRONMENTAL REPORT



国立大学法人
東京学芸大学
Tokyo Gakugei University

〒184-8501
東京都小金井市貫井北町 4-1-1
Tel.042-329-7111
www.u-gakugei.ac.jp

東京学芸大学 環境報告書 2023

目次

環境憲章	01
Top Message	02
大学概要	03
機構図	04-05
小金井キャンパスマップ	06
地球温暖化の対策の推進に関する基本方針	07
基本マネジメント組織体制	07
環境負荷軽減への取り組み	08-09
環境パフォーマンス	10-12
環境配慮促進法準拠状況	13

編集方針

本報告書は、「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」にもとづき、本学が取り組んでいる環境整備・保全に関する方針・活動を皆様にご理解いただくと共に、「学芸の森」及び自然を共に守り・育て・継承していくための資料として多くの方々に活用していただくことを目指しています。

■ 参考としたガイドライン
環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

■ 報告書の対象範囲
小金井キャンパス、ならびにその他地区（各附属学校）

■ 報告書の対象期間・発行
対象期間 令和4年4月（2022年4月）
～令和5年3月（2023年3月）
発行 令和5年9月（次回：令和6年9月発行予定）

■ 環境報告書は東京学芸大学のホームページで公表しています。
<https://www.u-gakugei.ac.jp/jouhou/01/>

環境憲章

基本理念

「教育への情熱・知の創造」をモットーに「有為の教育者」の育成を目指す東京学芸大学は、地球環境問題が焦眉の課題となっていることを深く認識し、継続的な人類の発展に寄与するために、地球環境の保全と充実に向けた教育活動を積極的に展開する。

また、緑豊かな自然を保持する本学は、建学以来育んできた「学芸の森」をかけがえのない教育研究環境として守り発展させ、周辺地域の自然環境との調和に努めつつ、多彩な環境パートナーシップを構築する。

基本方針

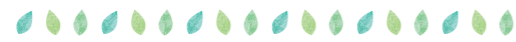
1 本学のあらゆる活動から生ずる環境負荷を認識し、環境汚染の防止、エネルギー使用量・廃棄物排出量の削減、資源リサイクル量の向上をはかり、園児・児童・生徒・学生・教職員などの心身の健康を図ると共に、環境への自覚を高める。

2 地球環境や地域環境を保全・改善するための研究活動及び環境教育・環境学習活動を推進し、公開講座等を通じて環境問題の啓発、普及に務め、循環型社会の担い手となる優れた人材の育成に努める。

3 大学及び附属学校・園の自然環境の保全・充実に努め、「キャンパス」の学術的・教育的価値を更に高めると共に、地域社会と連携し、園児・児童・生徒・学生・教職員・地域住民等の多様で主体的な環境活動を推進する。

4 環境に関する法規、条例、協定及び学内規定を遵守する。

TOP MESSAGE



線状降水帯という、つい数年前までは聞いたこともなかった言葉が雨が降るたびに聞かれるようになり、また、9月末まで続く真夏日など、地球環境の激変は、いまや身近にひしひしと感じられるようになってきました。

2020年より4年間続く新型コロナ・ウイルスによる感染症は、感染症法上の扱いこそ「5類感染症」となりましたが、しかし、流行自体収まったわけではありません。この新たな感染症の流行は、近代科学思想・技術の普及の中で、感染症は、もはや乗り越えられたとってきたことが、いかに傲慢であったかを思い知らされました。

しかし、新型コロナ・ウイルス感染症が「5類感染症」となったことは、不十分ながらも、人がそれに対応する道を探り当てつつあるということで、ワクチン開発・接種が進み、医療体制の立て直しもなされました。経済は回復し、町には活気がもどりつつあります。これもまた人の生活と思われれます。

自然の力を認識し、理解するとともに、それと共存共栄していく人間の生活について考えていくことは、次世代の子どもたちにとって、必須と言ってよい営みです。有為の教育者の養成を使命とする本学では、そうした教育のあり方、また、それを実現する教育者養成の道を引き続き追求していきたくと思っています。



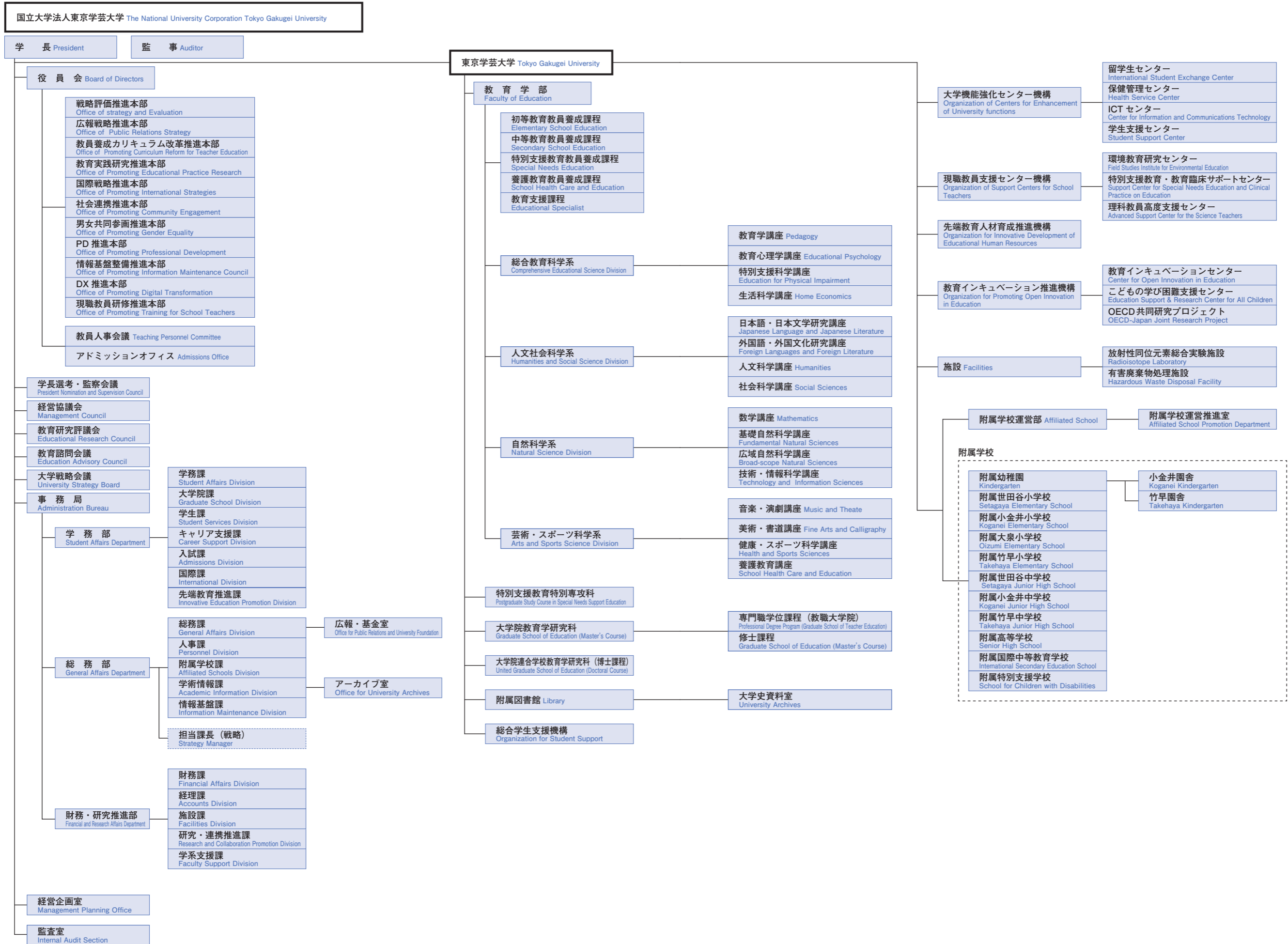
国立大学法人 東京学芸大学 学長

國分 充

東京学芸大学の概要(令和4年5.1現在)

※附属学校在学者数()内の数字は海外帰国児童・生徒

小金井団地		敷地面積	306,894㎡	延べ床面積	111,064㎡
小金井キャンパス					
東京学芸大学					
・教育学部	在学者数		4,375名		
・大学院	在学者数		773名		
・特別専攻科	在学者数		16名		
事務局					放射性同位元素総合実験施設
附属図書館					有害廃棄物処理施設
環境教育研究センター					理科教員高度支援センター
先端教育人材育成推進機構					学生支援センター
留学生センター					特別支援教育・教育臨床サポートセンター
保健管理センター					教育インキュベーションセンター
ICTセンター					こどもの学び困難支援センター
					国際交流会館
					附属学校運営部
小金井地区					
・附属幼稚園小金井園舎	在学者数		141名		
・附属小金井小学校	在学者数		619名		
・附属小金井中学校	在学者数		419名		
世田谷地区					
・附属世田谷小学校	敷地面積	28,393㎡		延べ床面積	7,320㎡
	在学者数	609名			
・附属世田谷中学校	敷地面積	20,307㎡		延べ床面積	6,001㎡
	在学者数	419名			
・附属高等学校	敷地面積	53,207㎡		延べ床面積	12,141㎡
	在学者数	951(48)名			
大泉地区					
・附属大泉小学校	在学者数		577(45)名		
・附属国際中等教育学校	在学者数		715(303)名		
大泉寮					
竹早地区					
・附属幼稚園竹早園舎	在学者数		60名		
・附属竹早小学校	在学者数		409名		
・附属竹早中学校	在学者数		427名		
東久留米地区					
・附属特別支援学校	在学者数		71名		
学生寮					
大泉寮	敷地面積	大泉地区に含む		延べ床面積	2,415㎡
小平寮	敷地面積	4,244㎡		延べ床面積	2,995㎡
東久留米国際学生宿舎	敷地面積	14,543㎡		延べ床面積	2,555㎡



機構図

機構図



学務部

- Student Affairs Department
- C2 学務課 (中央2号館 1F)
Student Affairs Division
 - C2 学生課・キャリア支援課 (中央2号館 2F)
Student Service Division, Career Support Division
 - C2 国際課 (中央2号館 3F)
International Division
 - 209 大学院課 (第2むさしのホール 3F)
Graduate School Division
 - E7 大学院課 (教職大学院) (東7号館)
Graduate School Division (Graduate School of Teacher Education)

センター
Centers

- W2 先端教育人材育成推進機構 次世代教育研究グループ (西2号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Research of Next-Generation Education
- E6 先端教育人材育成推進機構 教育実習グループ (東6号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources Group for Teaching Practice
- C4 留学生センター (中央4号館)
International Student Exchange Center
- C5 ICTセンター (中央5号館)
Center for Information and Communications Technology
- C6 学生相談室 (中央6号館)
Student Counseling Office
- W2 障がい学生支援室 (西2号館)
Office for Students with Disabilities
- W7 環境教育研究センター (西7号館)
Field Studies Institute for Environmental Education
- E6 先端教育人材育成推進機構 国際教育グループ (東6号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources International Education Research Group
- E5 特別支援教育・教育臨床サポートセンター (東5号館)
Support Center for Special Needs Education and Clinical Practice on Education
- C1 理科教員高度支援センター (中央1号館)
Advanced Support Center for the Science Teachers
- 204 教育イノベーションセンター (本部棟)
Center for Open Innovation in Education
- C9 こどもの学び困難支援センター (中央9号館)
Education Support & Research Center for All Children
- W4 W5 先端教育人材育成推進機構 (西4号館) (西5号館)
Organization for Innovative Development of Educational Human Resources

西地区 West Block (あぎさいり)

- W1 西1号館 West Building 1
- W2 西2号館 West Building 2
- W3 西3号館 West Building 3
- W4 西4号館 (西講義棟) West Building 4
- W5 西5号館 (西講義棟 110) West Building 4 (110)
- W6 西6号館 West Building 5
- W7 西7号館 West Building 6
- W7 西7号館 West Building 7
- 101 小金井クラブ Koganei Club
- 102 芸術館 (学芸の森ホール) Arts Hall (Gakugeinomori Hall)
- 103 音楽ホール Music Hall
- 104 放射性同位元素総合実験施設 Radioisotope Laboratory
- 105 実習室1 Practical Training Room 1
- 106 実習室2 Practical Training Room 2
- 107 実習室3 Practical Training Room 3
- 108 共通利用2号館 Common Use Building 2
- 109 温室 Greenhouse
- 111 農園 Farm

中地区 Central Block (ぐんじょうり)

- C1 中央1号館 Central Building 1
- C2 中央2号館 (南講義棟) Central Building 2
- C3 中央3号館 (中央講義棟) Central Building 3
- C4 中央4号館 (北講義棟) Central Building 4
- C5 中央5号館 Central Building 5
- C6 中央6号館 Central Building 6
- C7 中央7号館 Central Building 7
- C8 中央8号館 Central Building 8
- C9 中央9号館 Central Building 9
- 201 弓道場 Archery Hall
- 202 20周年記念飯島同窓会館 Iijima 20th Anniversary Alumni Hall
- 203 正門守衛所 Main Gate Guard House
- 204 本部棟 Headquarters Building
- 205 図書館 Library
- 206 総合メディア教育館 Comprehensive Media Education Hall
- 207 保健管理センター Health Service Center
- 208 第1むさしのホール 1st Musashino Hall
- 209 第2むさしのホール 2nd Musashino Hall
- 210 サークル棟 Club Building
- 211 北門テニスコート North-Gate Tennis Court
- 212 北門守衛所 North Gate Guard House

東地区 East Block (あかみち)

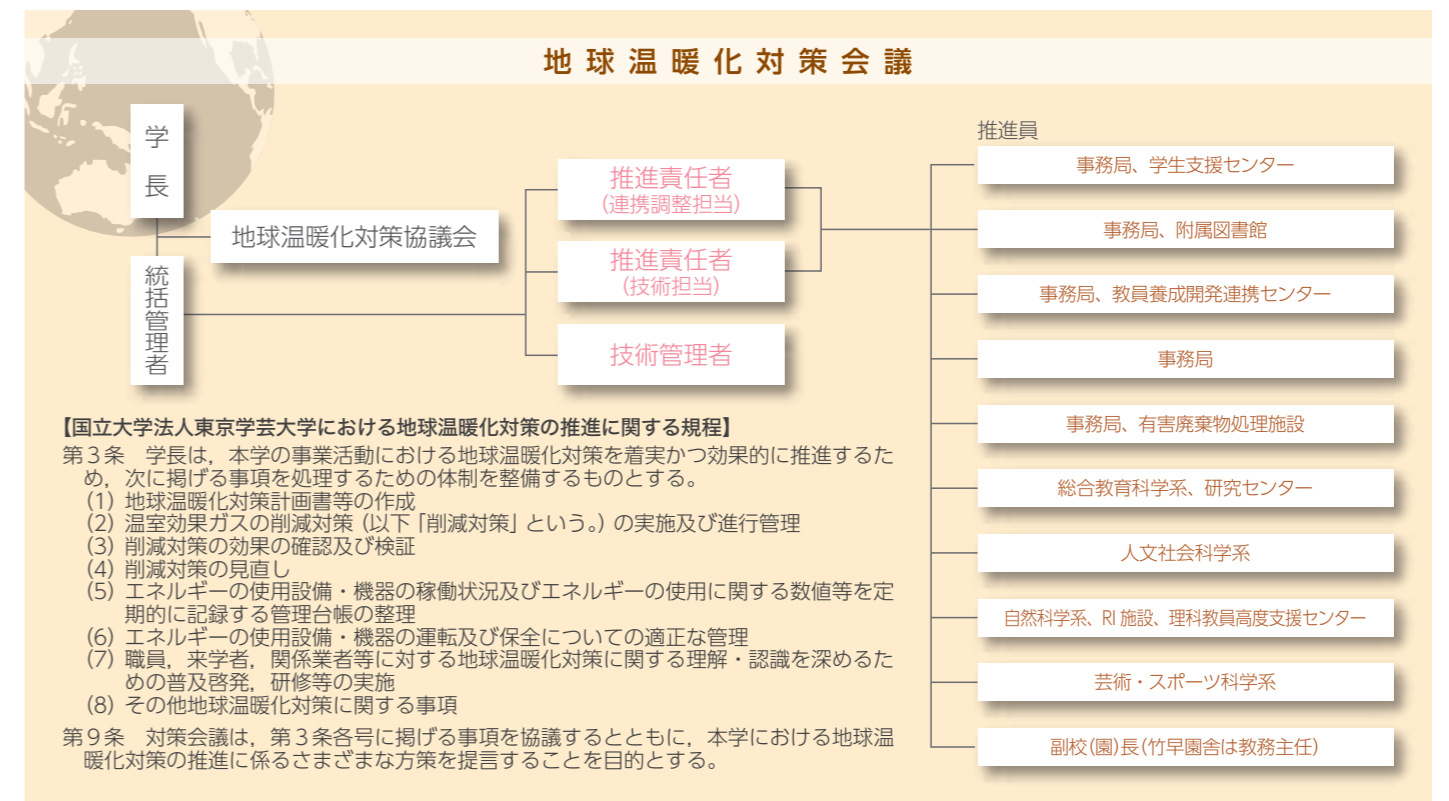
- E1 東1号館 East Building 1
- E2 東2号館 East Building 2
- E3 東3号館 East Building 3
- E4 東4号館 East Building 4
- E5 東5号館 East Building 5
- E6 東6号館 East Building 6
- E7 東7号館 East Building 7
- 301 総合グラウンド Athletic Field
- 302 合宿所 Training Camp
- 303 卓球場 Table Tennis Hall
- 304 野球場 Baseball Ground
- 305 体育館 Gymnasium
- 306 屋外バスケットボールコート Outdoor Basketball Court
- 307 剣道場 Kendo Hall
- 308 舞踏場 Dancing Hall
- 309 柔道場 Judo Hall
- 310 若草研究室 Wakakusa Laboratory
- 311 プール Swimming Pool
- 312 ハンドボールコート Handball Court
- 313 プレイパーク Play Park
- 314 東門バレーボール・テニスコート East-Gate Volleyball / Tennis Court
- 315 学芸の森保育園・こどもモードハウス Gakugeinomori Nursery / Kodomo House
- 316 附属幼稚園小金井園舎 Affiliated Koganei Kindergarten
- 317 附属小金井中学校 Affiliated Koganei Junior High School
- 318 附属小金井小学校 Affiliated Koganei Elementary School
- 319 国際交流会館 International House
- 320 コミュニティセンター Community Center
- 321 東門守衛所 East Gate Guard House

地球温暖化の対策の推進に関する基本方針

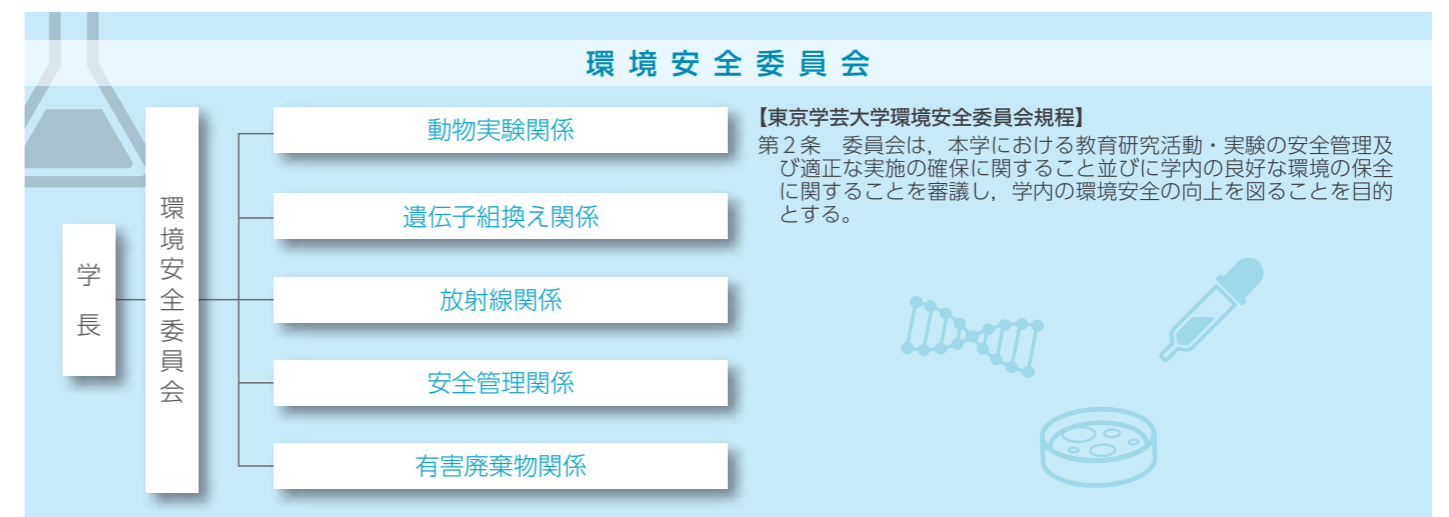
国立大学法人東京学芸大学 地球温暖化対策計画書 (令和2年度～令和6年度) より抜粋

- I) 地球温暖化対策について「有為の教育者」を養成する大学として、学生及び教職員が一体となり、「省エネ・節電」への高い意識を持って、積極的に取り組む。
- II) 「省エネ・節電」を意識するあまり、学生・教職員の健康や安全管理上、不適切なものとならないようにする。

環境マネジメント組織体制



環境安全委員会



ZEB化 始めました

1. ZEBとはなにか

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼ぶそうです。快適な室内環境を実現しながら、消費エネルギーを省エネによって「へらす」と敷地内で発電する「つくる」ことで建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目標とした建物のことです。この制度は「実際にゼロエネルギーのビル」ではなく、「計算上ゼロエネルギーのビル」です。あるモデルケースのビルが消費するエネルギーと比較して計算しますので、古くて空調が整備されていないビルの空調を減らし劣悪な環境にする必要はありません。



建物で私たちが仕事や生活をするために、冷暖房や換気、照明、給湯、OA機器用に電気を消費しています。このエネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、高い断熱性能の屋根や壁、窓、電力消費の少ないLED照明や高効率空調機などの省エネ機器を駆使し消費エネルギーを減らします。それでも足りない分を太陽光発電などの再生可能エネルギーで賄うことにより、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにしたうえで、快適な室内環境を実現します。



2. ZEBの種類

ゼロを実現することは容易ではなく、導入をあきらめることがあるようで、基準が緩やかな安易版を含め以下の4種類のZEBを用意されています。

『ZEB』

年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロ以下の建築物
(再生可能エネルギーをつくり、基準一次エネルギー消費量から100%以上の削減)

『Nearly ZEB』

ZEBに限りなく近い建築物として、ZEB Readyの要件を満たしつつ、再生可能エネルギーにより年間の一次エネルギー消費量をゼロに近付けた建築物
(再生可能エネルギーをつくり、基準一次エネルギー消費量から75%以上の削減)

『ZEB Ready』

ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物
(再生可能エネルギーはつくり、基準一次エネルギー消費量から50%以上の削減)

『ZEB Oriented』

ZEB Readyを見据えた建築物として、外皮の高性能化及び高効率な省エネルギー設備に加え、更なる省エネルギーの実現に向けた措置を講じた建築物
(再生可能エネルギーはつくり、基準一次エネルギー消費量から40%以上の削減)

3. ZEB化検討

本学では昭和34年に建築された附属小金井小学校の校舎が老朽化し改修時期がきているためZEB化について検討を開始しました。まず空調機や照明は更新の時期がきているためこの機会に高効率機器やLED照明に更新することにしました。太陽光発電は修理や部品交換などが長年必要となりますが、屋根や外壁の断熱材設置や窓硝子を二重にすることは一度設置すれば、長年維持費がかかりません。



そこで再生可能エネルギーをつくらない『ZEB Oriented』相当を採用することにしました。校舎全体の改修を3年計画で行うこととし、第1年目は2022年8月に着工し2023年3月に完成しました。



着工前 外観



完成後(外壁断熱材設置 二重硝子)



着工前 空調機 照明



完成後 空調機 LED照明



着工前 空調室外機

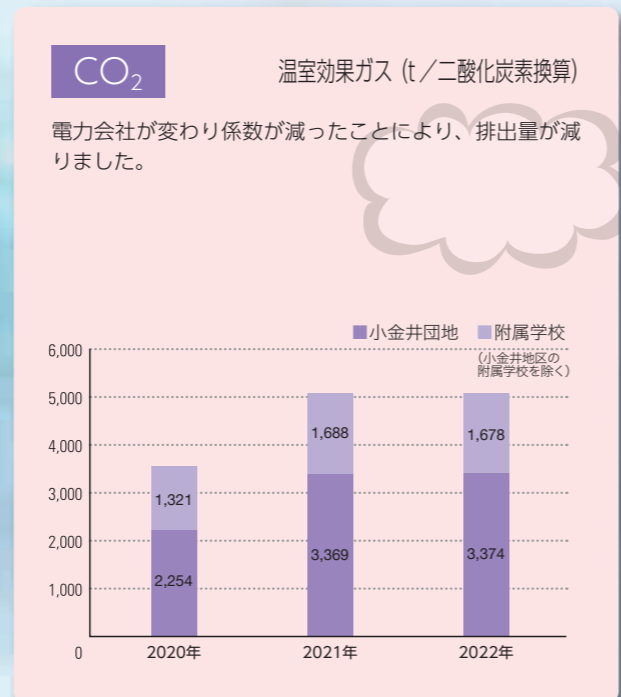
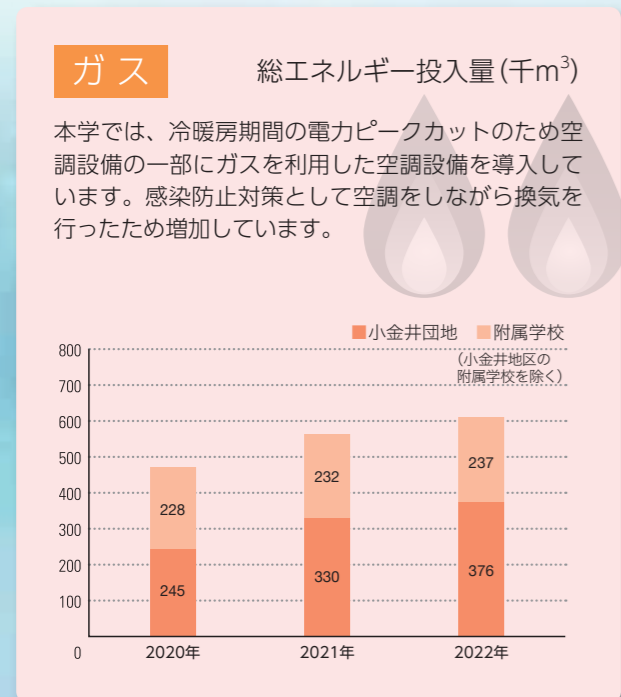
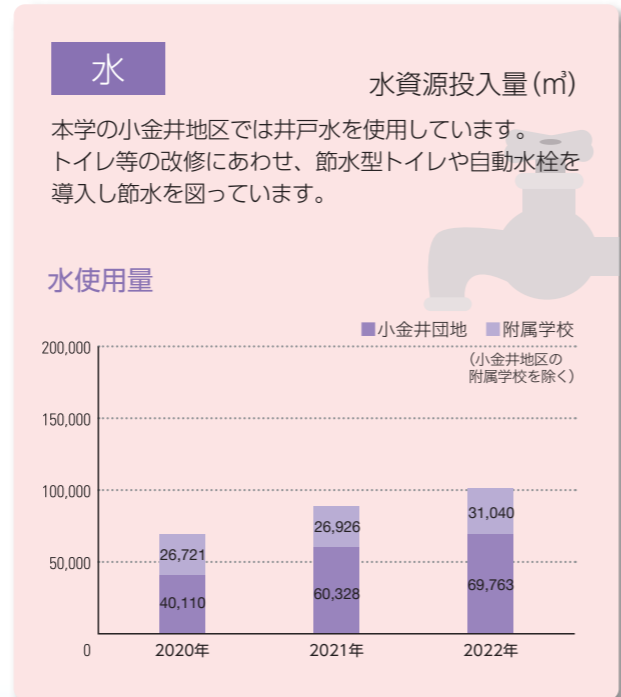
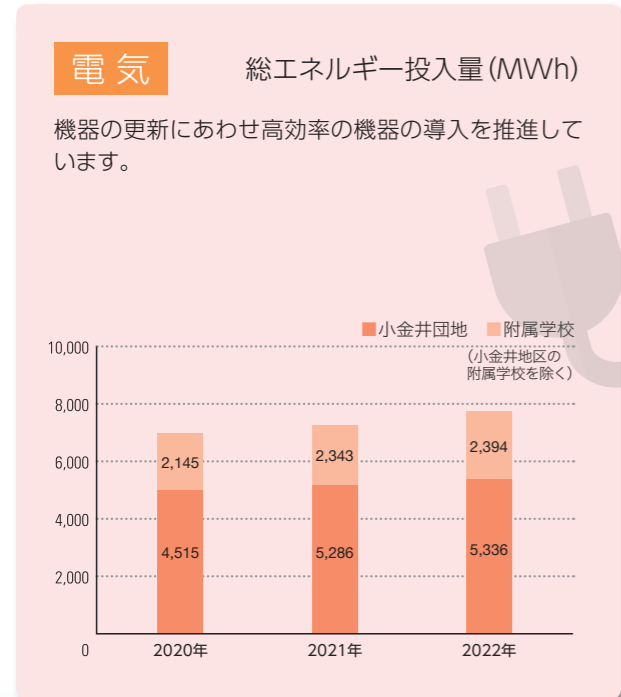


完成後 高効率空調室外機

事業活動に係わるエネルギー・資源の全体量

電気・ガス・水道などの地球環境に影響する使用量および支出額のデータを比較表にして、学内へ定期的に通知し、その増減状況の共通理解を得ることにより、省エネの意識向上を図っています。

以下に環境パフォーマンスの取り組みデータを示します。



INPUT

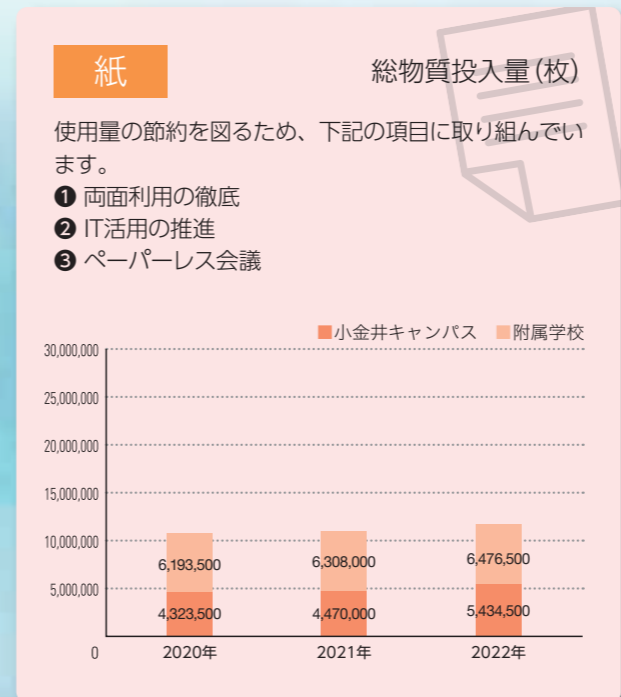
電気	7,730,739kWh
ガス	612,873m ³
水	100,803m ³
紙などの資源	11,911,000 枚

OUTPUT

温室ガス (CO ₂ 換算)	5,052t
一般廃棄	499,281kg
排水	100,803m ³

環境保全効果

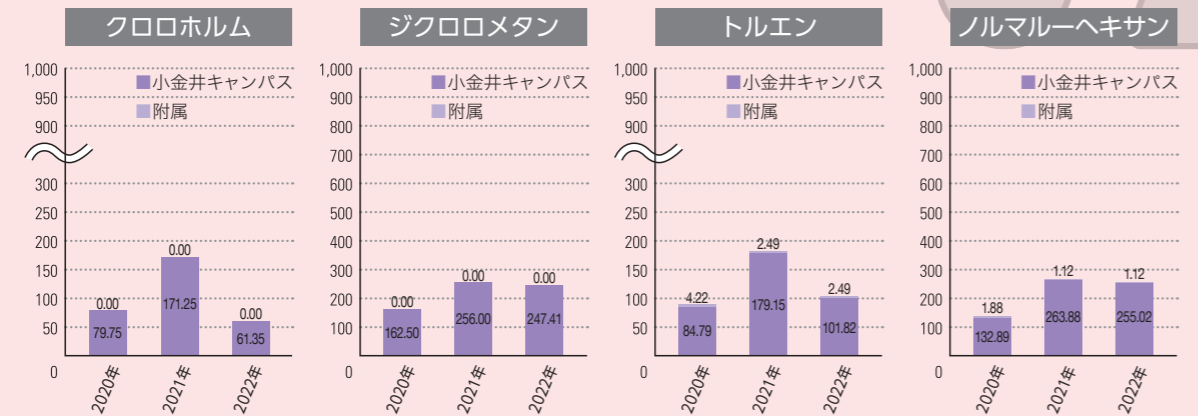
環境パフォーマンス指数	2021年度	2022年度	前年比
エネルギー使用量 (GJ)	98,911	102,280	1.03
水資源使用料 (m)	87,254	100,803	1.16
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	5,057	5,052	0.99



化学物質

化学物質排出量・移動量 (kg)

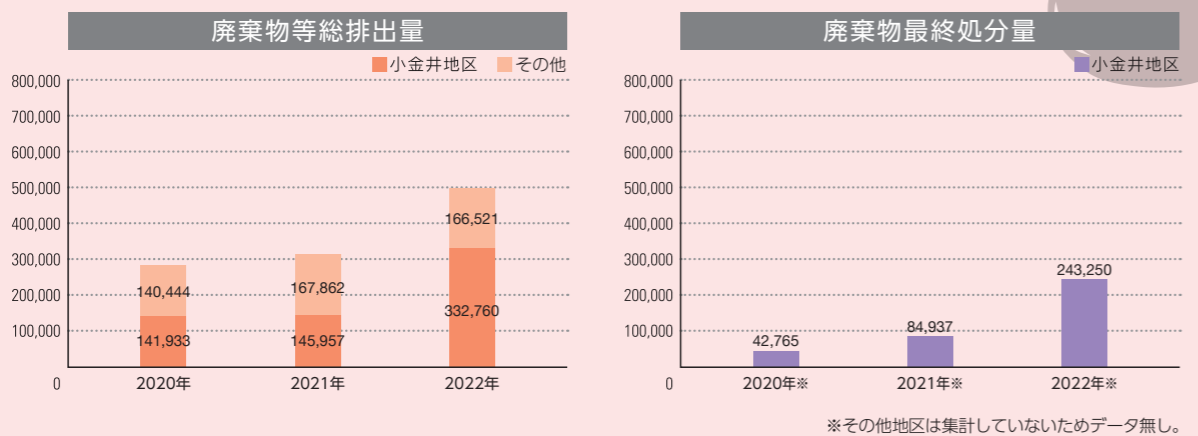
「東京学芸大学毒物および劇物取扱規定」に従い、教育・研究で使われる化学物質は適正な管理・使用を行っています。PRTR法の報告対象となる使用量に達するものはありませんが、年間使用量の多い上位4つの化学物質についての数値を記載します。



廃棄物

廃棄物等総排出量・廃棄物最終処分量 (kg)

ゴミの分別、ペーパーレス化の推進および返納物品活用バンクなどにより、廃棄物の減量に努めました。



2020年からの活動制限で減少していた、廃棄物等総排出量、最終処分量が、2022年より活動緩和のため以前の状況に戻りました。

再生利用品目

(小金井地区 2021年度)

単位: kg

紙類	85,480
ペットボトル	0
缶・金属・スプレー缶	4,030
パソコン	0



環境配慮促進法 (記載事項等に関する告示) 準拠状況

番号	記載必須項目	掲載ページ
1	事業活動に係る環境配慮の方針等	01
2	主要な事業内容、対象となる事業年度等	01・03-06
3	事業活動に係る環境配慮の計画	02・06
4	事業活動に係る環境配慮の取組の体制等	07
5	事業活動に係る環境配慮の取組の状況等	08-12
6	製品等に係る環境配慮の情報	—
7	その他	—

お問い合わせ

財務・研究推進部 施設課

TEL 042-329-7163
 FAX 042-329-7168
 MAIL kenchiku@u-gakugei.ac.jp

本報告書に関するご意見、ご感想、ご助言などをお待ちしております。これまで発行した環境報告書は東京学芸大学のウェブサイトからご覧いただけます。

www.u-gakugei.ac.jp/jouhou/01/

東京学芸大学 環境報告書 2023

編集・印刷：有限会社サンプロセス